

平成 30 年 11 月 1 日 00402 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】

「剣道・柔道の安全指導」

講習会が開かれました！

北見市教育委員会主催の

「剣道・柔道の安全指導講習会」が北見市武道館で行

われました。柔道は10月

4日の木曜日、剣道は10月5

日の金曜日に、どちらも15時

から16時30分まで、中学校

から16時30分まで、中学校



の体育教諭が北見市武道館（道場1・道場2）に集まり、専門の高段者による安全指導や技術の向上を目的とした「理論研修・実技指導」が行われ、受講者は熱心に柔道や剣道の技法に取り組んでいました。

武道振興
協会事務
所の花シ
リーズ



「萩」の仲間で江戸萩の中の江戸絞りが咲きました。白と桃色の2色の混じりで長い枝（1～1.5メートル）に沢山花を付けて咲きます。〈渋谷〉

連載「武道宝鑑」第20弾 柔道秘訣 柔道教士七段 橋本正次郎「柔道修行者の心得」

修行者は實の山に入りながら手を空しくして帰るようなことがあってはならぬ。柔道の修行は修行すればするほど難しくなる。それ故進んだ人ほど自己の未熟を感じ不満に堪えられないで敬虔な態度を持するものであるが初心の者は少し技でも巧みになると直ぐに慢心する傾がある。名人達人と雖も柔道の理想に照らせば低い程度にあるのであるからそれ以下の者は『推して知るべし』である。慢心は進歩の敵である。柔道の修行は一生の問題であるから決して慢心してはならぬ。常に理想の鏡に自己を照し敬虔な態度を以て絶えず反省し長を益々、短を補うことに専心努めなければならぬ。柔道の修行は自分自身の修養の為にするのであって人に見せる為にするものではない・・・つづく